

研究室名

生殖発生生物学研究室 学会発表

【発表者について】 アンダーラインは本学教員、研究員および技術職員、○は発表者、※は大学院生、卒研生または卒業生

学会名	日本動物学会
演題名	ショウジョウバエ始原生殖細胞における新規メス化遺伝子の同定
発表者	<p>○<u>太田龍馬</u><sup>1</sup>、<u>前田隼佑</u><sup>1</sup>、<u>印南花奈</u><sup>1</sup>、<u>金沢幹太</u><sup>1</sup>、<u>村田悠太</u><sup>1</sup>、<u>脇田峻太郎</u><sup>1</sup>、林誠<sup>2</sup>、小林悟<sup>2</sup></p> <p>1: 帝京大学理工学部バイオサイエンス学科 2: 筑波大学生存ダイナミクス研究センター (○は発表者、アンダーラインは本学教員または学生)</p>
内容	<p>精子や卵のもとになる始原生殖細胞がメス化する分子メカニズムはほとんど明らかになっていません。本学会では、ショウジョウバエのオスとメスの始原生殖細胞のトランスクリプトーム解析から、始原生殖細胞のメス化に関わる新規候補遺伝子を選定し、その機能解析から始原生殖細胞のメス化に関わると考えられる新規遺伝子を同定したことを報告しました。</p> <p>本研究は、科学研究費補助金(25114002、18H05552、18K14739、20H03287)および筑波大学TARAプロジェクトの支援を受けて行ったものであり、筑波大学との共同研究により行われました。</p>